

川崎芳隆 かはらきよしとし ドイツ文學翻譯家。明治四十一年二月十五日島根縣生れ（一九〇〇年）。昭和六年東京帝國大學文學部獨文科卒。陸軍科學校教授、群馬大學教授歴任。著書に『コクライストの愛國文學』（昭和十六年七月）『白日本放送出版協會「ラジオ新書」』がある。

譯書、シエテファン・ツブイク作『黄昏』（昭和二十二年二月十五日）『花書房』、シエトルム作『若き日』（昭和二十二年十一月）『白蒼樹社』、同『白馬の騎手』（昭和二十二年一月）『白思泉社』、同『みづらみ』（昭和二十四年七月）『白思泉社』『思泉選書』。改題再刊『みづらみ』（二十六年四月）『白世界書房』、トーマス・マン作『薔薇の香りあらば』全二冊（上巻・昭和二十四年十月）『白』下巻・十一月五日リスター社）、シエミットボン作『さすらい』（昭和二十七年四月）『白』『白世界書房』『白学文庫』）、シエテファン・ツヴェイク作『最後の禮儀』（子供の國の物語）』（昭和二十八年十月）『白』白水社『白水社世界名作選』）等。